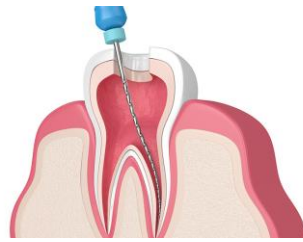


ろう」と皆さん思っているでしょうね。その空気は感じています…。実は歯医者なら誰しも「何でこんなことしなければならんだよ!」と思っただことがある作業です。それぐらい面倒だし、難しいけど大切な作業です。



実は根の治療は大きく2つあります。1つは中の神経を除去する作業と、歯の中にできたむし歯を除去する作業です。いずれも針状の器具を中に入れてゴシゴシとこする作業です。

以前は完全手作業でしたが、最近では器械でできるようにもなっています。昔人間の歯医者としては、デリケートな作業を器械でやるなんてちょっと怖いのですが、最近の器

械はやはりすごく性能がいいらしく、正確に作業できるとのこと。いろいろ意見を聞いてみて導入も考えようかと考えているところです。

睡眠と歯科

個人的には睡眠と歯科は以前から近いものだと思っていました。僕が大学を卒業し、残った医局は、夜寝ているときの歯ぎしりの研究もしていたので、睡眠実験も多くやっていました。最近是一般雑誌などでも睡眠の質やストレスなどの特集がされることがあり、噛み合わせの影響なども伝えられるようになりました。

僕自身は睡眠実験班ではなく、顎関節症とストレスについての研究だったので睡眠について詳しい知識は

ありませんでしたが、いくつか調べてみると、睡眠ってすごく複雑な因子で成り立っているのですね。ストレスはもちろん、体温や食べ物、生活習慣、部屋の明るさなども関与することがわかっています。そして噛み合わせの影響も大きいとのこと。横になっているときと立っているときでは顎の位置が微妙に変わります。そこをうまく調整しないと睡眠の質が下がるそうです。人間の体って本当に精巧にできています。そもそも自分の歯がしっかり残っており、歯並びも良ければ難しい問題が出てきません。歯ってすごいなあと改めて感じます。

